

堺市史編纂90周年記念展

わたしたちの歴史を編む —『堺市史』とその時代—

令和元年 11月16日(土) ~ 12月22日(日)

堺市史



南蛮人渡来図 部分 (堺市立中央図書館蔵)



編纂を担当した三浦周行(左)と牧野信之助(右)
『堺市史』の題字も三浦による



市史資料のガラス乾板写真とその収納箱(当館蔵)



堺市史完成記念絵葉書(堺市立中央図書館蔵)



市史名誉委員の人々(『堺市史』より)

- 協力 堺市立中央図書館
- 開館時間 午前9時30分~午後5時15分(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 月曜日
- 観覧料 一般200円(160円) / 高校・大学生100円(70円) / 小・中学生50円(30円)
 ※ () 内は20名以上の団体料金 ※堺市内在住の65歳以上の方は無料(要証明書)
 ※堺市内在住・在学の小・中学生は無料 ※障害のある方は無料(要証明書)

堺市博物館

SAKAI CITY MUSEUM

〒590-0802 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内
TEL.072(245)6201 FAX.072(245)6263
<http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/>
フェイスブックにも堺市博物館の情報満載
<https://www.facebook.com/sakaishihaku/>



◆開催趣旨

令和元(2019)年は、昭和4(1929)年に『堺市史』が刊行され始めてから90周年にあたります。全8巻からなるこの書物は、堺市域の自治体史として、堺市の歴史を知るうえでもっとも基本的な文献として、現在でも高い評価を受けています。

本展では、『堺市史』編纂事業に焦点を当て、当時の堺市が市史を編纂するに至った経緯やその調査・編纂体制など事業の全体像をご紹介します。そして『堺市史』編纂事業が後世に与えた影響についても考察します。



『堺市史』全8巻

『堺市史』の編纂に関連して、大正13(1924)年11月7日～10日に開口神社を会場とした「市史資料展覧会」が行われました。この展覧会は市民に対し、市史編纂事業への周知と協力を得ることなどを目的に、当時の堺市域にあった文物を中心に歴史資料や美術品を一堂で紹介するものでした。本展覧会では残された出品目録などをもとに、この大正13年の「市史資料展覧会」の様子の一部を再現します。

みどころ1 『堺市史』編纂事業の全体像を紹介

『堺市史』にかかわった京都帝国大学教授の三浦周行をはじめとする市史編纂部の人々と堺の歴史家たち、及び市史編纂事業の全体像をご紹介します。



堺市史編纂部の人々
(堺市立中央図書館蔵)



史料探訪目録
(堺市立中央図書館蔵)

みどころ2 大正13年の「市史資料展覧会」の展示品を一部再現

大正13(1924)年の「市史資料展覧会」の様子を当時出品された資料から一部再現します。展覧会は4日間で約2500人の観覧者を数えました。



記念講演会の講演者
新村出 京都帝国大学教授



足利時代堺港図(実物は関東大震災で消失)の写真(堺市立中央図書館蔵)

◆学芸講座

12月14日(土) 午後2時～3時30分

『堺市史』とその時代

講師: 当館学芸員

会場: 博物館ホール(定員100名)、事前申し込み不要。当日直接会場へ。

※終了後に展示品解説を行います。参加する場合は観覧料が必要。

◆展示品解説

①11月17日(日) いずれも午後2時から30分程度。

②12月7日(土) 事前申込不要、直接展示場へ、観覧料が必要。

■次回予告

教育普及展

「むかしの暮らし—ふしぎな道具の世界—」

令和2年1月11日(土)～3月8日(日)



堺市博物館公式キャラクター
サカイイタケルくん
©YABUCHI Satoshi



◆交通案内

電車 JR阪和線「百舌鳥」駅下車徒歩約6分

バス 南海高野線「堺東」駅から
南海バス(40系統約10分)、
バス停「堺市博物館前」下車徒歩約4分

駐車場 大仙公園第三駐車場(有料)